

緑のセンターだより

No.260 令和2年11月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ノブドウ

ブドウ科 ノブドウ属

Ampelopsis glandulosa (Wall.) Momiy. var. *heterophylla* (Thunb) Momiy.

ノブドウは別名「ウマブドウ」とも言われ、北海道から沖縄まで日本全国に分布し、山野などで比較的容易に見つけることができます。落葉性のつる性半低木で、吸盤を持つツタとは違い、巻きひげで他の植物などからみ付いて伸びていきます。巻きひげは葉と対生し、ひげの先は二又に分かれます。

葉は単葉でつやがあり、長さは6～12cm、3裂もしくは5裂し、切れ込みも浅いものから深いものまで一つの株でさまざまな形の変化を楽しむことができます。葉の裏は緑色で無毛か、もしくは葉脈上に毛が生えています。似た植物にブドウ属(*Vitis*)の「エビツル」がありますが、巻きひげが各節から出ていることや、葉の裏がすべて毛で覆われることで見分けることができます。



花は7～8月頃、葉に対生して集散花序につけ、約6～8mmの淡緑色の両性花を開きます。

また、生薬としても古くから利用され、茎葉は「蛇葡萄(ジャホトウ)」、根は「蛇葡萄根(ジャホトウコン)」の生薬名で知られています。全て秋に採取し、根は水洗いをして天日干しします。薬効は大腸菌やブドウ球菌の抑制作用、利尿作用、止血作用などが挙げられ、肝炎や腎炎の民間薬として利用されています。根は関節痛にも効果があります。



秋には鮮やかな美しい実をつけるのもノブドウの大きな魅力です。始めは緑だった実が、白から紫、そして青へと移り変わり、同じ房の中でもそのグラデーションを楽しむことができます。

粒の大きさも大小さまざまですが、房の中で異常に大きくなった果実は虫えい(虫こぶ)とも言われます。果実に毒はないものの食用には向きません。山葡萄のようなおいしさはなく、ほとんど味がないため、薬用酒としての利用が一般的のようです。

近年では白やピンクの斑が美しい斑入り種(*Ampelopsis glandulosa* var. *brevipedunculata* 'Elegans')が園芸店で出回るようになり、寄せ植えやガーデンのアクセントとして人気があります。生育が早く、植え付けた翌年には開花結実を始めます。実生でも2年程で実を楽しむことができるようです。

旺盛に茂るのでフェンスやアーチに仕立てるのもよいですし、緑のカーテンとしてベランダで楽しんでもみるのもいかがでしょうか。



11月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00～12:00 13:00～16:00
 ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 (月祝日の場合は受付、翌平日に休み)
 ☆百合が原公園 772-3511 毎週 木、日 (11月1日まで)
 ☆平岡樹芸センター 883-2891 毎週 水、土 (11月7日まで)

		作 業 時 期			作業内容
		上旬	中旬	下旬	
屋 外 園 芸	庭木	冬囲い			高木（イチイ・マツ類）は雪吊り、低木は雪折れ防止の冬囲い 冬囲いの防風ネット・コモ等の合わせ面は南側にしておくが良い。
	果樹	剪 定			ブドウは落葉後に剪定（落葉の10日後程度を目安に）
		冬囲い			低木果樹は雪折れ防止の冬囲い
	花木	剪定・冬囲い			バラは冬囲いのできる高さに剪定。フジ・ボタン・ボケなどは花芽が残るように剪定 耐寒性が強くない花木（ボタン・サツキ等）は防風ネットやコモ掛けも行う。
	野菜	菜園片付け			野菜の茎葉残滓と手竹等の清掃・整理
		来年準備			来春への準備。堆肥撒布・剣先スコップ等で耕起反転
	花壇	球根植			植え遅れたチューリップ・スイセン等の植え付け
			植替え		ユリの球根は2～3年毎に植替え。時期は霜の後
芝生	清掃			芝生の上に落ちた枯葉やゴミの清掃	
		防除		根雪前に殺菌剤を散布し、雪腐れ防除	
室 内 園 芸	鉢花	置き場所			窓際の明るい場所で管理。窓からの冷気に注意
		温度管理			シクラメンの温度管理に注意する。日中20℃前後、夜間12～15℃
		短日処理			12月の開花に向け、ポインセチアの短日処理を継続。
	洋ラン	置き場所			シンビジウムは10～20℃の明るい室内で管理し、基本5℃以上を保つ。
		病害虫			アブラムシ、カイガラムシなど害虫に注意
	多肉植物	管 理			多肉植物、サボテン冬型種以外は休眠期（春まで断水）
		短日処理			シャコバサボテン・カランコエは短日処理の継続
	観葉植物	整枝・剪定			伸びすぎた枝・ツルを適当な長さに剪定
繁 殖			剪定枝を利用した挿し木（適期では無いが可能）		



Q 自宅の庭にあるキウイフルーツの剪定について、どのように剪定すれば良いですか？（東区 S.Tさん）

A 札幌近郊では11月下旬から12月中にかけて行います。混んでいる枝は間引くようにして、日当たりと風通しが良くなるようにスッキリとさせましょう。具体的には枝と枝が触れないように50cm以上の間が出来るようにします。

次に今回実を付けた位置より先の芽を3～5芽残します。また、節が詰まり気味で大きい芽の付いた枝葉は実を付けやすい枝ですので、新梢の出たところから5～7芽程度残すようにします。さらに、太い枝の上から出た強い枝は付け根から切って日陰を作らないようにして、全体のバランスで結果枝が残るようにしましょう。実の付けすぎには気を付けて、花の時から摘果に注意しましょう。

夏季剪定

枝葉が混み合うと果実の成長を阻害しますので、枝を間引く必要があります。まずは垂直に伸びた徒長枝を付け根から切り落とします。古い枝から出た徒長枝や実の付いていない邪魔な枝も切ると良いでしょう。



展示会・開花情報（2020年11月～12月）



百合が原公園

〒002-8082

北区百合が原公園 210

TEL. 011-772-3511

JR 学園都市線

「百合が原」駅下車

徒歩7～10分

早咲きのツバキ、サザンカが楽しめます

百合が原緑のセンター温室では、早咲きのツバキやサザンカをご覧いただける季節となりました。

北海道では自生せず、寒さ厳しい時期に開花しているイメージですが、百合が原緑のセンター温室では、茶道で11月に炉（ろ）を開く行事「炉開き」の頃、花の盛りを迎えることからこの名がついたツバキ「炉開き」を皮切りに、さまざまな美しいツバキやサザンカを翌年4月頃までの長い期間、お楽しみいただけます。

「展示会情報」

- ・秋のサルビア展
～鮮やかな秋の装い～
開催中～11月8日（日）
- ・クリスマスディスプレイ展
～森とアートと光と～
11月10日（火）～12月13日（日）



ユキツバキ系'初刈'



ツバキ「炉開き」

モンステラの実

園内はイチヨウやノムラモミジの葉が色付き華やかな風景です。緑のセンター2階温室では熟すまでに1年かかると言われる珍しいモンステラの実をご覧いただけます。また、人気の展示会が続々と開催されます。是非この機会にお越しください。



モンステラの実

「展示会情報」

- ・洋ラン展
11/10（火）～11/15（日）最終日16時まで
- ・シクラメン展
11/17（火）～11/23（月祝）
- ・ハンドメイド・クリスマス展
12/1（火）～12/20（日）



シクラメン展



豊平公園

〒062-0905

豊平区豊平5条13丁目

TEL. 011-811-6568

地下鉄東豊線

「豊平公園」駅下車

1番出口徒歩1分

ノムラモミジの絨毯

今年度の平岡樹芸センターの最終開園日も近づいてまいりました。

紅葉の見頃も終盤を迎えタイミングが良ければノムラモミジの葉が散り広がり、真っ赤な絨毯が並木道に広がります。

素晴らしい秋の終わりのひとときを園内で楽しんでいただければ幸いです。



- ・臨時開園日 10/26（月）、11/2（月）
- ・令和2年度最終開園日 11/8（日）



平岡樹芸センター （みどりーむ）

〒004-0874

清田区平岡4条3丁目

TEL. 011-883-2891

地下鉄東西線

「大谷地駅」から

中央バス（大69）

→「平岡4条2丁目」下車

徒歩1分

イベント情報（11～12月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568

<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
洋ランの冬の管理	11月14日(土)	13:30～	200円	20名	申込受付中
シクラメン他冬の鉢花の室内管理	11月19日(木)	13:30～	200円	20名	11/11(水)～
【クラフト講座】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
ナチュラルリースを作ろう	11月28日(土)	13:30～	2,000円	10名	11/11(水)～

※今後の情勢によっては、予定が変更となる場合があります。



洋ラン展

11月10日(火)～15日(日)



シクラメン展

11月17日(火)～23日(月祝)